



2025年度 秦野市青少年訪問団パサデナ市派遣 2026年1月11日(日)~1月17日(土)

グローバルへの助走青少年4人がパサデナ市で弾みつける



パサデナ姉妹都市協会の皆様、ホストファミリーの皆様、お世話になりました!

これからの担う青少年の相互交流を目的に両市で2006年に合意書の調印が交わされ、それから20年の時が流れました。その間、秦野市から56名の中高生や音楽・野球交流などでパサデナ市へ。パサデナ市から音楽交流も含め12名が来秦。互いに有形無形の文化や言葉に触れ、生涯忘れることのできない経験は、さらに大きな財産となり積み上げていくことでしょう!

今回の訪問は混沌とする世界情勢の中、手厚いおもてなしと安全確保の気配りを受け、両市間の青少年交流を無事終えたことに、心から感謝いたします。

秦野パサデナ友好協会

派遣者紹介(敬称略) 会長 六本木 康

シェーンバイン市長 1/14 を姉妹都市「秦野市の日」宣言



宣言書、久保谷課長に託される

長年の交流は市民間の絆と異文化理解だけに留まらず、相互支援の精神に基づくもの。2017年のハリケーン被害への寄付はその証です。

両市の全市民、職員に対し、今回の訪問団を歓迎して2026年1月14日を姉妹都市「秦野市の日」と宣言しました。

清水 心温	神奈川県立伊志田高校 3年	猪野 紀子	秦野パサデナ友好協会 (団長)
小山田 柑奈	神奈川県立有馬高校 1年	猪野 陽菜	秦野パサデナ友好協会
古市 小夏	秦野市立渋沢中学校 2年	久保谷 敏行	文化スポーツ部文化振興課長
犬飼 葉月	秦野市立鶴巻中学校 2年	米津 朱理	文化スポーツ部文化振興課都市交流担当

宣言書の英語・日本語の全文、訪問団報告等は秦野市 HP(QRコード)にて!

一昨年秦野市を訪問された  
お二人も大歓迎!



We were so happy to host this year's delegation in Pasadena. They were wonderful and eager to learn! I think the 4 students enjoyed shadowing and learning at our Pasadena schools. Lauren

今年の訪問団をパサデナ市でお迎えでき、大変嬉しく思っています。皆さん素晴らしい、学ぶ意欲に溢れていました! 4人の学生たちは、パサデナ市の学校での体験や見学を楽しんでいたようです。ローレン



It was a nice event and a beautiful week! We got a bag with the logo on it and it reminded us how great the water tastes, too! Micelle  
素敵なイベントで、素晴らしい一週間でした! ロゴ入りのバッグをもらいましたが、それを見て、水が本当においしかったことも思い出しました! ミシェル

Nicol 家



本屋さんで買った一冊の本を選ぶのは、まるで宝探しのように! 夕食にカレーを作り、食後はUNO、たくさん笑えた最高の思い出!

Sanchez 家



バスケット観戦、夜遅くまでの折り紙、UNO、一緒に料理、Sanchez 家では、まるで姉妹のように過ごしました。皆でピースは心のサイン!

みんな、みんな、ありがとう♡

楽しかったホームステイ眠れなかった夜



猪野紀子団長 19年ぶりに訪れたパサデナは変わらない温かさで迎えてくれました。ホテルまで会いに来てくれたゴード元会長ご夫妻、ゲイル元会長やプルデフシオ会長との再会に加え、ホストファミリーのアーノルドご夫妻をはじめとした新しい出会い。そして、62年間、



10年の時を超え、エドさんご夫妻と再会!

姉妹都市協会の会員として姉妹都市交流を支援してくださっているジューディさんと初めてお会いできました。中高生の皆さんの日毎に成長していく姿も素晴らしく、嬉しく感じました。



ジューディさんと

こんなことも♡

いただいたたくさんのおみやげのトランクが満杯で閉まらない! 会長さん方が急ぎょ、不用のトランクを手配! 心も満杯に♡



入った~♡



猪野陽菜さん 8歳から交流のあるパサデナ市を17年越しに訪問。高校や大学で主体性や実践力を重視した教育に触れ、多くの学びと刺激を受けました。温かなホスピタリティやホストファミリー、友人との再会に感謝し、パサデナ姉妹都市の絆を実感。今度は秦野で私が温かく迎えたいと思っています。

Arnold 家



行事の同行、全団員を招いての朝食やハイティー、心温まるプレゼント、全てが宝物に! 次は念願の日本のお寿司屋さんにご案内します!

ルトデガのどいでう仲ア作間カルら破入ツせれ片リプツたな



1週間、私たちと過ごしてくれてありがとうございました。皆さんと過ごせて本当に良かったです。どこに行っても明るい方ばかりで私の気持ちも明るくなりました!

1/15 サンジャシント短期大学

1961年創立の地域の短大、約32,000人の学生が在籍。石油化学・海洋・宇宙・医療など幅広い分野について学べます。日本企業数社も出資。また、企業で実際に使用する機材も設置されています。

海洋技術訓練センター

米国沿岸警備隊公認の施設。巨大シミュレーターを使った船の操縦などで海洋・消防分野を学ぶ大規模施設です。

さよならパーティー 表紙の写真のように関わってくださった方々が勢揃い! この訪問は生涯忘れません。"Thank you!" が飛び交いました!

期待を胸にパサデナ市へ  
感動と新感覚を秦野市に



シェンバイン市長、パサデナ市の皆様  
夢のような中で私たち大事なものを掴みました!

私は元々アメリカに興味がありましたが、訪れるという勇氣はありませんでした。ですが行って見て、世界観が変わりました! そこにずっといたいと思いました。秦野市の皆さんにも興味があることにチャレンジしてみたいです!

小山田柑奈さん



清水心温さん



五感で感じたパサデナを語る



犬飼葉月さん



古市小夏さん

ビーバーのキャラクタがタイヤにもびっしり!



私が一番に思ったことは、パサデナでは食べきれなかったものをみんな容器に詰めて持ち帰ることに驚きました。日本ではあまり見られないし、料金がかかってしまうなど思い、少し羨ましいと思いました。現地の方に伝えたら驚いていました。

1/14 博物館、図書館、市役所、警察署 見学

終日、制服で公共施設見学。図書館には日本の漫画もあり、市長室からはパサデナ市が一望できます。

パサデナ博物館

初期開拓時代から20世紀にかけての地域の暮らしや産業の変遷を窺うことができます。パサデナ市が農業中心の小さな町から現在の都市へと発展した歴史を体感できる貴重な施設です。



日本の展示コーナーには秦野市のペナントも

1/12 空港にお出迎え



パサデナ姉妹都市協会の皆さんに出迎われ、期待を膨らませる訪問団。ローレンさん運転のバスで出発~! パサデナ滞在の記憶を刻み始める!



1/12 NASA 見学

秦野市の約1/15の広大な敷地に100棟もの施設は「宇宙の町」。巨大さや宇宙開発技術の凄さにすっかり世界観が変わりました。



見学コースではNASAの元研究者であった秦野さんの解説で、歴代のロケットや宇宙飛行士の訓練の様子などを目で見ることができました。

1/13 市内学校訪問

ドビー高校

約3700人の多民族の中高生が通うマンモス校。近年、生徒増加のため、9年生のみが通う別キャンパスを新設。別キャンパスでは支援教育、ギフト教育、学術競技、空軍予備役士官訓練課程などと共に多彩な科目を学べる地域の教育の中心的な存在で多文化理解と地域貢献を体現する高校です。



士官訓練の軍服を身にまとい、気の引き締まる思い!



へびも飼う! こねばるも、笑顔!

トンプソン中学校



渋沢中学生徒たちのメッセージ



撮影風景

渋沢中学校と姉妹校提携から17年目。長年の交流は作品交換やオンライン交流で培われ、今回は動画を生徒たちで作成するなど、時代に合った交流に発展しています。



音楽の選択授業は合唱、オーケストラ、吹奏楽などがあり、さらに生徒のレベル別にも分けられた指導も。その活動は高い評価を得、たくさん賞を獲得しています。

パサデナ独立学区庁舎

小学校から高校までの教育行政を担い、約900億円の年間予算は市民から徴収され、市から全く独立した機関。職員は何と8,000人!



ロペス教育長と

人気の  
かき氷店♪



かき氷大根の専門店 高らかに「完売」!!

テントスタッフ 18名、子どもスタッフ 3名で運営



1本の大根、1杯のかき氷を通して、人々との交流は楽しい時間!  
特に子供たちの弾ける笑顔を中心に、会員のテンションは高まる一方!

かき氷 100円、大根 100円と格安価格の  
パサデナテントは例年どおり大繁盛! GOOD



ふれ合いの成果は 500杯完売!!

秋のかき氷! 笑顔こぼれる♥



子ども客には子どもスタッフで!  
大根、売り切れますよ~!

教職員派遣研修事業への参加が縁で協会員となり初めて参加した「市民の日」のかき氷販売、当初は緊張もありましたが、皆さんが温かく迎えてくださり、感謝の気持ちでいっぱいになりました。かき氷販売は想像以上に手が冷たくなり厳しかったものの、互いに声を掛け合い協力した結果、昼過ぎには、無事に完売することができました。皆さんと一丸となって目標を達成できたことは、私にとって忘れられない貴重な経験となりました。(猪俣有紀)



## 国際交流フェスティバル



設立 40 周年記念 約 200 人が祝う



2月15日(日)、本町公民館にて国際交流協会設立40周年記念となる国際交流フェスティバルが開催されました。市内在住、在勤、在学外国人による日本語スピーチ大会や40周年記念ステージとして、本町小学校6年生児童による多文化共生をテーマとした発表、日系ブラジル人3世の女流落語家「らむ音」さんによる3か国語落語のほか、各種団体の紹介ブース、着物着付けや茶道などの体験コーナー、避難所体験などの防災ブース、などなど内容も盛りだくさんでした。

### <秦野パサデナ友好協会のブース>



多くの方に立ち寄っていただき大盛況でした!

秦野市には現在、約70か国、5,000人ほどの外国籍の方が暮らしているそうです。このような機会は、同じ市内に暮らす外国籍の方と交流し、お互いを理解し合う良い機会となります。最後にはいろいろな国の料理の立食パーティ、じゃんけん大会などもあり、皆さん積極的に国際交流を楽しんでいました。

### <日本語スピーチ大会出場の皆さん>



日本に来て感じたこと、母国の生活や料理についてなど、興味深いスピーチばかり!

### <らむ音さんによる3か国語落語>

何事も挑戦しなければ可能性は0%。やるかやらないかは自分次第というお話が印象的でした。



### <本町小学校6年生児童による発表>



多文化共生をテーマに、みんなが暮らしやすい街にするにはどうすればいいのかを発表。とても立派でした!

# 佐野美三雄 顧問 ご逝去

子どもを愛し、パサデナを愛した佐野さん、ありがとう。



2025年8月19日、佐野美三雄顧問がご逝去されました。92歳でした。2007年から4年間会長を務められ、特に青少年交流事業に尽力されました。2009年秋、パサデナ市からの青少年4名を含む17名の親善訪問団は、この事業の初めての青少年受け入れとなりました。

一昨年6月の両市姉妹都市提携60周年記念演奏会ではつらつとした閉会の言葉が今でも心に残っています。その佐野様を偲んで六本木会長に思い出を語っていただきました。

佐野顧問との出会いは、私が末広小学校で5年生のキャンプ行事を担当したことがきっかけでした。顧問は当時、松田町寄のキャンプ場の責任者でした。私はまだ若く、何も知らない時代でした。児童の対応、キャンプ場の使い方、保護者への対応、材料の調達等、親切、丁寧にきめ細かく指導していただきました。また、ある時は、これらの計画書を学校に提出する際は、「提出前に、佐野の所に持って来てください」と私のために時間を割いて検討していただきました。いつまでも忘れることのできない思い出となっています。

長い月日が経ち、私が当協会の会長に就任した時、故望月前会長と一緒に顧問に挨拶に行った時は丁寧な歓迎の中、これからの協会のためにと熱心に話していただきました。また、児童のために資金が必要でしょうと、上地区の人々の家を回り、集まった寄付金を「子どもたちのために使って」と私に託されました。

佐野顧問は、子どもたちを愛し、パサデナ市の人々を愛し、協会のために活動された方です。まだまだご指導いただけたらと思っていた矢先の訃報は非常に残念です。

最後に、心より平安をお祈り申し上げます。

## リアルタイムのおしゃべり 2025年10月17日(金) in 秦野市役所

### 和やかに弾んだ交流、淋しい別れ際、あとは手作りお守りが繋ぐ

恒例の市内中学生とトンプソン中によるオンライン交流会が行われ、渋沢中や北中の生徒15名が工夫して日本の文化やアニメを紹介し、大いに盛り上がりました。参加者にとって、「外国の中学生とリアルタイムで話せて、ものすごく楽しかったです!」「パサデナの生徒さんが私たちの発表をノリ良く盛り上げてくれて、緊張がなくなりました」「いつかもっと英語で会話ができればいいなと思いました」など、貴重な体験となりました。さらにその後も、この素晴らしい時間を共有できたトンプソン中学校の生徒さんに向けて、感謝の思いを込めた手作りのお守りをプレゼントしました。

(安藤美千代)



最高の技術力で明日を創る

株式会社藤野製作所



- ・機械工作
- ・表面処理

代表取締役会長 藤野歳記

代表取締役社長 黒石昇

〒257-0031 秦野市曾屋 338 番地

☎0463-81-1313 FAX0463-82-7074



セレモニーホール  
富士見齋場

富士見齋場株式会社

〒257-0031

秦野市曾屋 1011 番地 秦野齋場隣り

☎0463-84-0222 FAX:0463-84-0300

<http://www.富士見齋場.COM>

代表取締役会長 石井時明

代表取締役社長 石井隆浩

確かな技術で

「ものづくり」

栗原工業株式会社

代表取締役社長 栗原悦子

〒257-0015 秦野市平沢 248 番地

☎ 0463-81-4321 FAX 0463-82-0345

母の代から続くパサデナとの縁 これからも



パサデナ市訪問団と芦ノ湖観光

会長を務める石井時明さんとパサデナ市との関わりは、お母様の頃からとのこと。石井さんにお話を伺いました。

当協会とのご縁は過去を遡ると、母である石井由子がかかなり昔に当協会行事に参加させていただいたようでした。その母が昨年9月に逝去した際、過去の写真を整理しましたら、当協会の皆様との交流やパサデナ市の訪問団受け入れの写真が数多く残ってありました。当時多くの皆様にお付き合いいただき仲良くしてくださった模様が写ってありました。



当時の会長はじめ役員の方々にお誘いいただき仲間に入れてくださったものだろうと思います。母とご縁を結んでいただいた皆様に心より感謝申し上げます。母が当協会の会員であったことに感慨深く思います。

その私が当協会に入会させていただいたきっかけは、私の中学校時代の恩師が望月國男先生であり、西中学校1年の時の担任でもありました。当時先生は独身で、お昼はほとんど出前、毎日のように生徒の弁当と交換するのが日課でした。その中で、私の弁当と交換するのが一番多かったように思います。おそらく、母の弁当を望月先生が一番召し上がったのではないかと思います。そんな望月先生が当時、会長をされていた当協会に協賛方々参加させていただいたのは言うまでもなく、大したお役にも立てなくて申し訳ないと思いつつ、仲間の一員に加えさせていただいております。

一昨年は姉妹都市提携から60周年、ますますの当協会の充実、発展を祈念申し上げます。

12/7

サーシー家と野呂家の交流 孫世代へ

野呂邸



東の間の多世代交流 ネイサンさんまた来てね!



オレ、日本語少し分かる!

澄み渡る青い空に富士山が圧巻の姿を見せた初冬、パサデナ市から一人の青年が秦野市を訪れました。彼はパサデナ姉妹都市協会がかつて副会長を務められた亡き Leon Searcy さんのお孫さん、Nathan Searcy さん。おじいちゃんが愛した秦野市の風景や人々との交流を楽しみに初来秦されました。手巻き寿司と天ぷらをメインに友好協会メンバー有志による持ち寄り家庭料理の「英語ランチ会」は、Nathan さんの流暢な日本語披露のサプライズもあり、和気あいあいとした雰囲気での交流の場となりました。



Nathan & 香

日本に興味を持ったのは親善訪問団として私たちがパサデナ市を訪れたことがきっかけだったということを知り、小さな国際交流が時を経てこのような実を結ぶことに感慨深い思いがしました。戸川公園の吊橋から臨む秦野市の大自然を堪能し、カルチャーパークのパサデナストリートのポールの下で静かに佇む Nathan さんの笑みに Leon さんの面影を感じ、姉妹都市交流の輪が着実に次の世代に引き継がれていく喜びを実感したひとときでした。(野呂香)

編集後記

今年1月、青少年訪問団がパサデナ市を訪問。現地の皆様の熱いおもてなしに皆、感激の面持ちで帰国されました。パサデナ市の方々が一昨年の訪問の際に秦野市民の皆様から受けた温かいおもてなしが忘れられないと話されていたそうです。交流の輪が確実に広がっていることを嬉しく思います。なお、4月29日と5月3日にバヤン奏者スタスさんの音楽交流会が予定されています。お仲間を誘って、ご一緒にお楽しみください。(大津道雄)